

| | | | | | | | | |
|--|------------------------------|------|-------|-----|--|-------------------------------|---------------|---------------|
| 科目区分 | 専門教育科目 | 科目名 | 介護実習1 | | 科目コード | 40801 | 担当者 | 実習担当教員 |
| 対象学生 | 介護福祉士コース1年生 | 学期区分 | 1年 | 単位数 | 1 | 卒業要件 | 必修 | |
| | | | | | | 免許・資格要件 | 介護福祉士必修 | |
| 科目の主題 | | | | | | 成績評価の方法と割合 | | |
| 実習区分（Ⅰ）の初回実習である。グループホームとデイサービスという生活の場に直接関わり、利用者の生活や個性を理解することが求められる。利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する学習とする。 | | | | | | レポート・提出物（40%） 実習態度・評価（60%） | | |
| 科目の到達目標 | | | | | | 教育目標に基づく学修成果の到達目標 | | |
| | | | | | | 誠実な人柄と人間力（尽心） | 高度な知性と創造力（創造） | 明確な意志と実践力（実践） |
| 1. | グループホーム・デイサービスの役割を知ることができる。 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 2. | 人間的ふれあいの中で、利用者の理解を深めることができる。 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 3. | 日常生活上の基本的な生活援助が理解できる。 | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 4. | 記録のもつ意味が理解できる。 | | | | | | ○ | ○ |
| 5. | | | | | | | | |
| 授業方法 | | | | | | | | |
| 学外実習（グループホーム・デイサービスのそれぞれに5日間ずつ、計10日間の実習である） | | | | | | | | |
| 準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容） | | | | | | | | |
| 1) 実習の意義・目的を理解する。 2) 実習施設の概要、主な業務など施設についての基礎知識を確認しておく。 3) 実習記録の方法について、理解しておく。 4) 地域福祉についての基礎的知識を習得しておく。 5) 福祉関連法規について学習しておく。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| (1) グループホーム・デイサービス事業について理解する。 ・サービスの内容や利用者像を理解する。 など (2) 利用者とのコミュニケーションを図る。 ・利用者とのコミュニケーションを図りながら、利用者が様々な活動に参加する意欲、満足度、利用する喜びや楽しみなどを観察する。 (3) 利用者とのコミュニケーション過程をプロセスレコードに起こす。 ・知覚したことをありのままに表現する。 など (4) 介護の援助の視点を理解する。 ・利用者の1日の活動を観察する。 など (5) 集団への援助と個人への援助の違いを観察する。 (6) 毎日実習計画を立て、実施したことや体験したこと、学んだことを記録することによって介護者としての自己の課題を明確にする。 | | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | 受講生へのメッセージ | | | |
| 新・介護福祉士養成テキスト「介護総合演習」中央法規出版 | | | | | 初回の実習となります。目標にもあげたように、適切な介護を行う為には何より大切なのは、相手の事をよく知り理解することです。利用者にも職員にも、出来るだけ積極的に関わりを持つように心がけ、多くの事を学ばせていただきましょう。 | | | |